

**工学部が使用した駿河台キャンパス
近くの聖橋校舎** (写真上:1952年頃)
新制大学設置認可書 (写真下:1949年)

1949(昭和24)年4月、新制明治大学が発足しました。このとき、東京明治工業専門学校を工学部に、明治農業専門学校を農学部に変更しました。発足直後の工学部は、駿河台と和泉、さらに大久保校舎(新宿区)で講義や実験を行いましたが、1952(昭和27)年から駿河台キャンパスと、その近くの聖橋校舎を使用することになりました。



生田キャンパス
(1954年)

発足直後の農学部は、和泉キャンパスを使用して講義を行いました。しかし、1951(昭和26)年に生田キャンパスに移転しました。また、工学部は、1964(昭和39)年から翌1965(昭和40)年にかけて生田に移転しました。



生田キャンパス
(1992年頃)

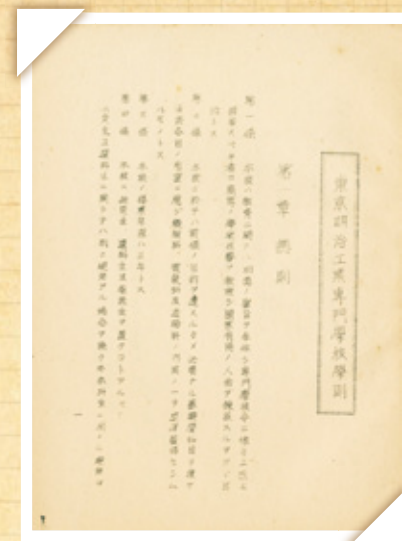
工学部は、1989(平成元年)年に理工学部へと改組しました。生田キャンパスでは、1991(平成3)年1月に中央校舎が完成しました。



生田キャンパス
(2012年)

東京明治工業専門学校学則
(1944年)

理工学部の前身である東京明治工業専門学校の設置認可は、戦時中の1944(昭和19)年4月です。設置場所は駿河台キャンパスでした。



目で見る明治大学の歩み

明治大学史資料センター



#59

農学部と理工学部の歴史

今回は、理工学部と農学部の歴史について紹介します。理工学部は1944年に駿河台で、農学部は、1946年にかつて農場として利用していた誉田で、産声をあげました。その後、両学部は教室不足などで拠点を変えましたが、最終的に農学部が1951年から、理工学部が1965年から生田キャンパスを使用し、今日に至っています。

(明治大学史資料センター・阿部裕樹)

**明治農業専門学校の
学生たち**
(1947年頃)

農学部の前身である明治農業専門学校の設立は、1946(昭和21)年6月です。設置場所は、かつて農場として利用していた千葉県千葉郡誉田村(現千葉市)でした。1948(昭和23)年9月には駿河台キャンパスに移転しました。

